

令和8年度大豆情報 第3号

令和8年7月7日 発行

福島県会津農林事務所喜多方農業普及所

栽培のポイント○高温・乾燥対策○病虫害防除○追肥

1 高温・乾燥対策

- ・ 開花期（7月下旬）～子実肥大初期（9月上旬）にかけて土壌が乾燥すると落花、落莢が多くなり減収の要因となります。そのため、表1の「灌漑実施の目安」のいずれかにあてはまる場合、畝間灌水を実施しましょう。畝間灌水ができない場合は、明きょへ通水しましょう。



表1 灌漑の目安について

図 水不足で葉が反転している様子

灌漑実施の目安 (いずれか1つあてはまる場合に実施)	・ <u>開花期以降 10 日以上降雨がない</u> 場合。 ・ <u>日中に葉の反転が 50%以上</u> みられる場合。 ・ <u>地下水位 60～70 cmより低下</u> している場合。
灌漑実施の時間帯	地温の低い <u>朝方</u> または <u>夕方に実施</u> する。
灌漑水量	<u>明渠と畝間に水が行き渡ったら落水を実施</u> する。

2 病虫害防除

表2 主な病虫害及び薬剤名等について

主な病虫害名	防除時期及び回数		
紫斑病	開花期の <u>20～40 日後</u> に防除を実施しましょう。		
カメムシ類	<u>8月下旬</u> （着莢期）～ <u>9月中旬</u> （子実肥大中期）に実施しましょう。 発生が多い場合は <u>追加</u> で防除を実施しましょう。		
マメシンクイガ	<u>紫斑病の防除に合わせて</u> 実施しましょう。		
ウコンノメイガ	<u>7月下旬～8月上旬</u> （開花期）に防除を実施しましょう。		
主な薬剤名	主な適用病虫害	使用量	使用時期
アミスタートレボンSE	紫斑病、カメムシ類、マメシンクイガ	100～400 L / 10a	収穫 14 日前まで
アミスター20フロアブル	紫斑病	100～300 L / 10a	収穫 7 日前まで
エルサン乳剤	カメムシ類、ツメクサガ、マメシンクイガ	100～300L / 10a	収穫 7 日前まで
スミチオン乳剤	カメムシ類、マメシンクイガ、ウコンノメイガ	100～300L / 10a	収穫 21 日前まで

3 追肥と中耕培土

表3 追肥の施用例

- ・ 「基肥＋追肥」体系の場合は、適期に追肥を実施しましょう。
- ・ 追肥の時期は、2回目（5～6葉期）の中耕培土の時期（7月下旬）となります。第1本葉の節が隠れる高さまで培土しましょう。

肥料名	施肥量 (N/10a)	時期
LP70	6 kg / 10a	5～7 葉期 (7月下旬)
尿素	6 kg / 10a	開花期 (7月下旬～8月上旬)

★農薬は登録情報をよく確認してください。なお、無人航空機で殺虫剤散布する場合は散布計画書の提出をお願いします。

○本情報の内容や大豆に関するお問い合わせはこちらへどうぞ。
会津農林事務所喜多方農業普及所 TEL：0241-24-5743